

### 問題点【地域の伝統芸能文化の存続危機、若者世代の文化財離れと継承者不足】

#### 【現状】

- ・宇部市の伝統芸能文化財である「岩戸神楽舞」が存続危機にある。復興を目指し地域で復興委員会が始動をはじめた。
- ・若者の伝統芸能への関心度の低さは、内閣府世論調査（5.文化財の保護）データからも顕著である。
- ・文化財を誰もが手軽に知る・感じることができる環境整備が不足している。

読売新聞 2018.9.24 山口版（抜粋）

内閣府世論調査 5.文化財の保護より



| 年代  | 関心がある | 関心がない |
|-----|-------|-------|
| 全世代 | 78.4% | 21.6% |
| 10代 | 68.4% | 31.6% |
| 20代 | 68.4% | 31.6% |
| 30代 | 78.4% | 21.6% |
| 40代 | 78.4% | 21.6% |
| 50代 | 78.4% | 21.6% |
| 60代 | 78.4% | 21.6% |
| 70代 | 78.4% | 21.6% |

若者は文化財の存在すら知らないのではないか！！

### 解決アイデア【手軽な情報発信ツールの開発・地域連携における衣装製作などの活動参加】

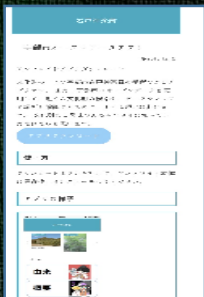
#### ① 文化財検索アプリ「岩戸神楽舞 UBE アプリ」開発

宇部市のオープンデータを使用し、宇部市内の文化財が簡単に検索できるアプリ。復興を目指す岩戸神楽舞の理解促進を中心としている。動画での映像は岩戸神楽舞の舞方がいつでも閲覧できる。SNS との連携は人の繋がりを促進させる。



オリジナルイラストアイコン、見やすい配置でスカイ安さを

#### ③ アプリダウンロード用ホームページの作成



<http://ube-iwatokaguramai.work>

アンドロイド専用アプリダウンロードするためのオリジナルホームページ作成。



#### ④ 岩戸神楽舞ホームページ作成・キャラクターグッズ開発など



岩戸神楽舞専用のホームページの開発や、イメージキャラクターでのグッズ製作開発で宣伝活動

#### ② 地域連携における活動

A. 地域行事ポスター制作

B. 衣装製作



若者が興味を惹くようなイラストを使用した促進ポスター



新たな衣装の製作協力



知る・繋がる・地域活性化

実現に向けて

【連携】

【官】

宇部市

総合戦略局

北部総合支所など

【民】

岩戸神楽舞復興委員会

・解決に向けての  
資料提供、社会活動

【民】

COCOMU

プログラ民具の  
技術指導・提供